

令和5年度 特定非営利活動法人全国こども福祉センター 事業計画

- 1 事業目的
- 2 事業の実施に関する事項
- 3 事業評価・事業成果
- 4 事業の予算
- 5 活動メンバーによる事業計画
- 6 組織体制
- 7 会議に関する事項

1 事業目的

特定非営利活動法人全国こども福祉センター（以下、本法人）は、子ども・若者に対して声かけ、対話交流、募金活動などアウトリーチ活動を実施し、互いの理解を深める。仲間との出会い、人間関係づくりを通じて支えあい、社会活動への参加、各々の福祉（幸福）を追求できる環境を提供する。

【本法人の定款】「次代を担う子ども達や大人も対象にした教育・文化活動や交流事業を組織的に行い、以って地域力の底上げや社会福祉の増進に寄与する」

2 事業の実施に関する事項

本法人は定款の目的（本法人の定款第5条第1項）のもと、特定非営利活動に係る事業（1）を行う。

（1）特定非営利活動に係る事業

- ①街頭パトロール・相談事業
- ②居場所づくり事業
- ③まちづくり事業
- ④シェルター・自立支援事業
- ⑤その他非行防止に関する事業

便宜上、上記の事業名称を使用し、①～⑤と事業別に分けているが、各事業は独立していない。一般の参加者やボランティア、スタッフが自由に参加できるように保障する。

【事業内容】

繁華街やSNS上で、声かけ（①）や対話・交流（①）を行うことで、その場（空間）自体が子ども・若者と路上生活者などの交流拠点である「居場所（②）」をつくり出す。交流の場を開くことで、SOSを受け止める場を提供する（①）。

好立地の場所で①②の活動を行うことで、意図的に人と人が出会う、繋がりが生まれる機会を提供し、“まちづくり”を担う（③）。

設立当初から、生きづらさを抱える若者や、虐待や暴力被害からの一時避難の場としての機能・役割を担い続けている（④）。そのため、ボランティアの可能な範囲で、同行支援、シェルター機能を継続する。今年度も50名以上の専門職、大学生、活動メンバーによるサポート体制を組む予定。寄付者や社会全体へのアプローチとして、メルマガの作成や講演、研修会など社会への発信（⑤）にも力を入れる。

3 事業評価・事業成果

本人の最善の利益は各々で異なる。一律に評価を行うことは適さない。参加者や受益者、寄付者個人に直接たずねる機会を設ける。できる限り、各々の参加者や受益者の評価を尊重する。

その他の全体の評価方法

活動時に参加者名簿を記録している。活動回数や参加者数は、本人の行動と選択の結果で客観的な事実であり、評価や成果の参考とする。記録上確認できた項目、男女比、年齢、出身地域等なども計測する。

(1) 参加者数、(2) 事業ごとの参加者 参加者の属性など

4 事業の予算

(単位：千円)

収入 収益 (寄付金 1,700 千円、募金 400 千円、*助成金 0 千円・事業収益 20 千円)

*正確には、助成金ではなく、名古屋市青少年局から依頼されて、実施した街頭調査の委託料である。

経常収益 計 1,702 千円

支出 事業費合計 1,670 千円、管理費合計 50 千円 経常費用 計 1,702 千円

前期正味財産増減額 4,101 千円 (次期繰越正味財産額 4,101 千円) 詳細別紙 (2022 年度決算報告書)

5 活動メンバーによる事業計画

従来の活動を継続する。活動メンバーの思いを聴き、メルマガを作成し、社会に向けて発信する。

6 組織体制

正会員 (サポーター会員 24 名含む) 32 名

役員 (理事 6 名 監事 1 名)

伊藤かなこ、平澤えみ、岸田のりこ、清水ゆりこ、富田まさみ、荒井かずき、清水しんいち (監)

事務局 3 名 (伊藤ひかる・井田まお・中山ようへい)

相談員 4 名 (黒田しょうこ・加藤さやか・山本よしあき・坂井あやの) *メルマガ作成

応援団 1 名 (梶谷しんじ)

広報 2 名 (希咲みらい、栗本みく、ゆうか)

経理 1 名 (伊藤ひかる *兼任)

コアメンバーグループ : 50 名

当日ボランティア・グループライン所属 : 90 名

スポーツボランティア・グループ 所属 : 54 名

7 会議に関する事項

【総会】 通常総会

2023 年 5 月 20 日 16:00~17:00

会場 : 名古屋市中村区則武 1-16-8-405 (事務所) & オンライン ZOOM

【理事会】 第一回理事会 2022 年 5 月 20 日 13:00~14:00

会場 : 名古屋市中村区則武 1-16-8-405 (事務所) & オンライン ZOOM